

令和4年度ノリ養殖概況

仲村尚人*・檜東裕子*

養殖環境 漁期中の岡山市における月別降水量の推移を図1に示した。降水量は、10月は高気圧に覆われて晴れの日が多く、平年より少なかった。11月も晴れの日が多かったが、まとまった雨が降った日もあり平年並であった。12月から2月は高気圧に覆われて晴れの日が多く、平年より少なかった。3月は中旬以降にまとまった雨が降り、平年並であった。

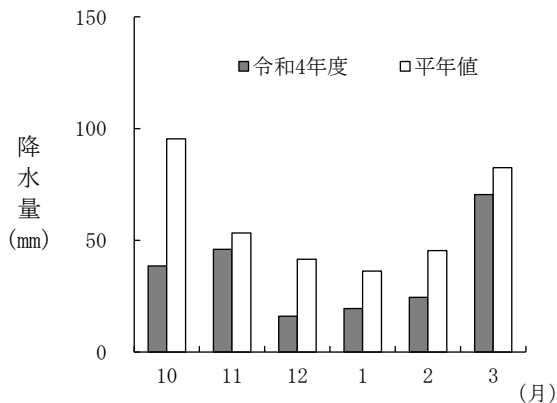


図1 令和4年度漁期月別降水量の推移
(岡山地方気象台)

牛窓沖水深2m層における日平均水温の推移を図2に示した。水温は、10月25日に育苗開始の目安となる23℃を下回り、11月15日に本張り開始の目安となる20℃を下回った。10月から12月中旬までは平年を上回る日が多く、特に11月下旬は平年値を1.5℃以上上回る日も見られた。12月下旬以降から2月までは平年並または平年を下回る日が多かった。

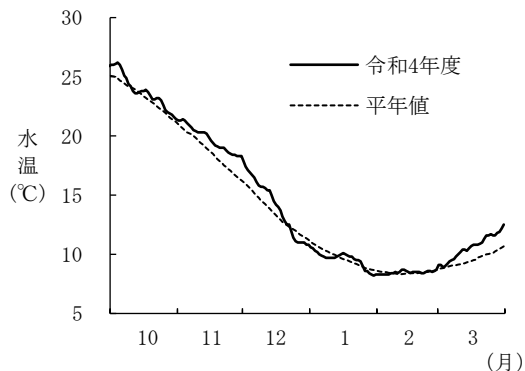


図2 令和4年度漁期牛窓沖水温の推移

漁期中のノリ養殖漁場における溶存態無機窒素(DIN)濃度の推移を図3に示した。DIN濃度は、10月上旬から12月下旬にかけて3μM以上で推移しており、近年、秋季に発生していた大型珪藻 *Coscinodiscus* 属の大規模な増殖は見られなかった。1月以降は降雨が少なく、大型珪藻 *Eucampia* 属の増殖も見られたため、2月上旬には0.7μMまで減少し、漁期終了まで1μM以下の状態が続いた。

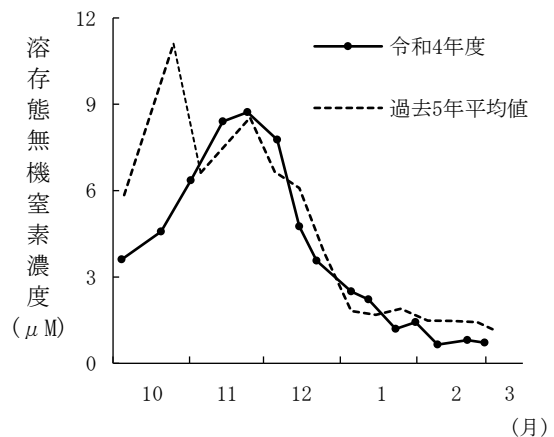


図3 令和4年度漁期溶存態無機窒素濃度の推移

養殖経過 漁期中のノリ養殖状況について、漁業者に聞き取り調査を行った。

育苗は10月21日から順次開始された。育苗期間中の水温低下が鈍く、一部の地区で芽数の減少も見られたものの、概ね順調に経過した。

本張りは11月14日から順次開始された。県内各地で魚類による食害が原因と思われるバリカン症様の症状が見られた他、犬島周辺では一部の漁場で生育不良が見られた。

生産は、牛窓地区や笠岡地区で11月下旬から、水島周辺では12月上旬から開始された。食害や生育不良による影響で犬島周辺では12月下旬からの開始となった。漁期当初は色艶のある品質の良い乾海苔が生産されたが、1月以降は各地で葉体の色調低下が発生した。2月には降雨により色調が若干回復したが、その後は再び色調が低下した。他産地の不漁により単価が高騰したため、生産は概ね3月下旬まで継続された。

* 岡山県農林水産総合センター普及連携部普及推進課

生産結果 食害や生育不良の影響により年内の生産量は少なかったものの、生産が3月下旬まで続いたことから、生産枚数は前年を上回る約1.4億枚（前年比112%）となった。他産地の不漁により国内の生産枚数

が減少したため単価が高騰し、平均単価は13.27円（前年差+3.37円）と過去10年で最高となり、生産金額は18.4億円（前年比151%）となった。